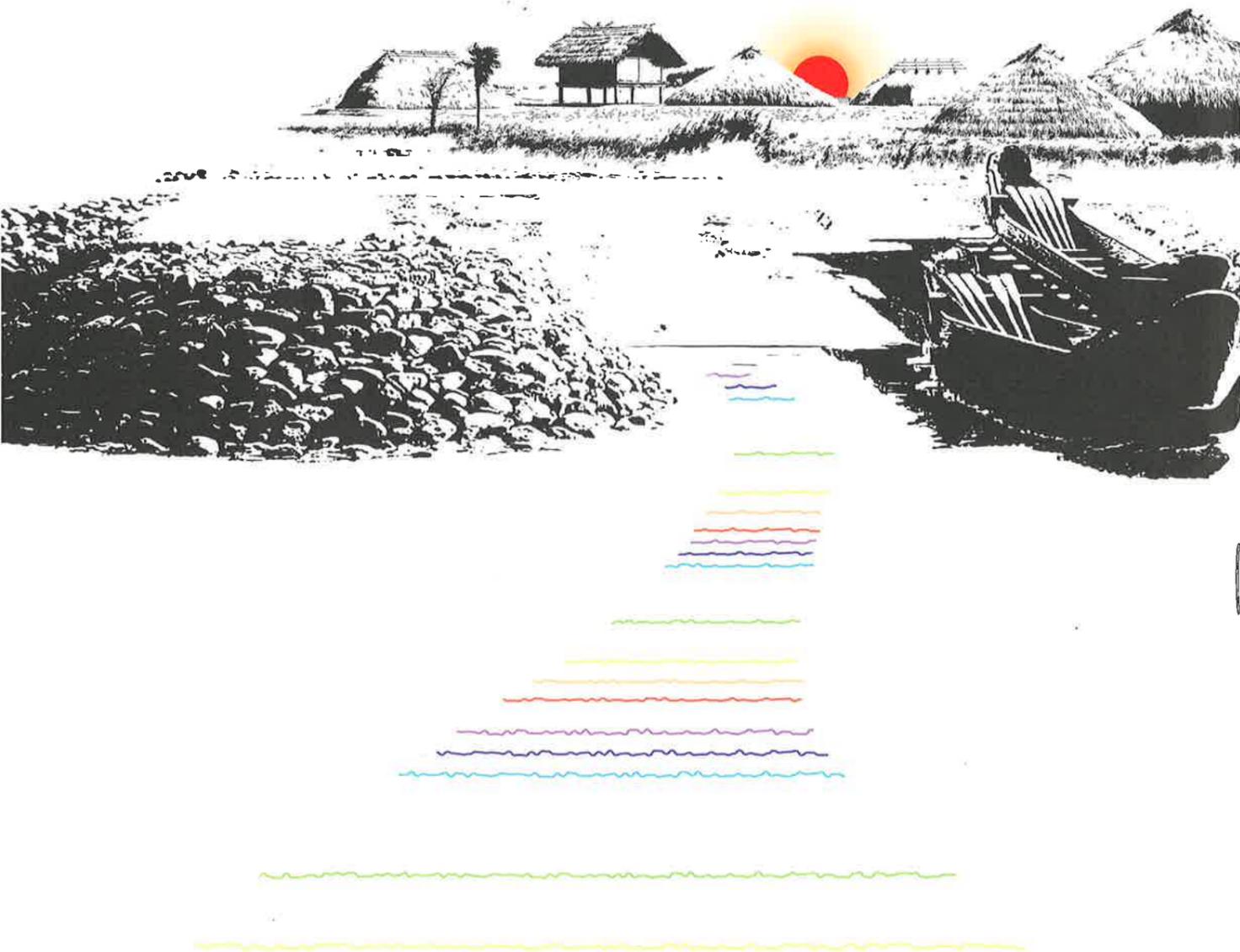




## 特集 加盟文化団体のイベント



いつになく、のぼる陽にこころ躍らせ。  
なにげなく、過ぎた日々も色鮮やかに。  
さりげなく、今年も長崎を美で飾ろう。



02 **特集** 加盟文化団体のイベント  
共催事業の報告と紹介



08 若手アーティスト派遣事業



10 ながさき音楽祭2008 振り返って…  
教会会場・酒蔵会場・お寺会場



15 しまの芸術祭  
OMURA 室内合奏団アンサンブル



16 クレッシェンド・シーハットおおむらだより

17 アルカス通信

18 長崎歴史文化博物館

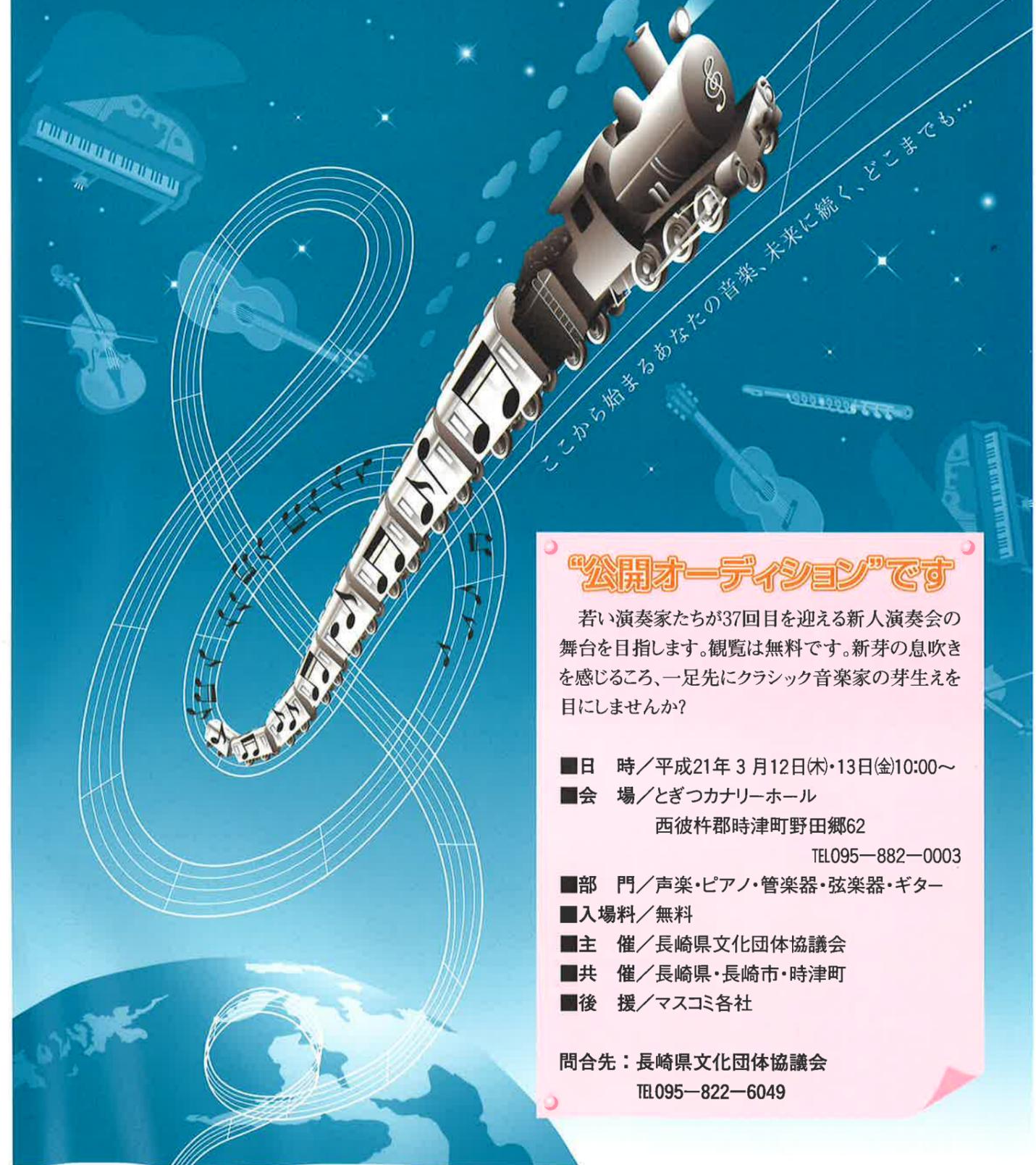
19 長崎県美術館

20 第53回長崎県美術展覧会移動展

21 長崎県文化基金のお願い

# 第37回 長崎県新人演奏会

× クラシック音楽家の新人登竜門



ここから始まるあなたの音楽、未来に続く、どこまでも…

### “公開オーディション”です

若い演奏家たちが37回目を迎える新人演奏会の舞台を目指します。観覧は無料です。新芽の息吹きを感じるころ、一足先にクラシック音楽家の芽生えを目にしませんか？

■日 時／平成21年 3月12日(木)・13日(金)10:00～  
■会 場／とぎつカナリーホール  
西彼杵郡時津町野田郷62  
TEL095-882-0003

■部 門／声楽・ピアノ・管楽器・弦楽器・ギター  
■入 場 料／無料  
■主 催／長崎県文化団体協議会  
■共 催／長崎県・長崎市・時津町  
■後 援／マスコミ各社

問合せ：長崎県文化団体協議会  
TEL095-822-6049

着さでは知りえない



芝居の醍醐味が待っている

### 第四十八回長崎県民演劇祭を終えて

長崎県演劇協会 会長 本山 善彦

八 年ぶりの諫早市での演劇祭で、まず、長崎日大高校「パセリ」これは、ダンスも交えた若々しい芝居だった。日大高校は裏方でも大活躍で頼もしい助っ人だった。顧問の先生の努力に敬意を表したい。若い劇団、劇団ヒロシ軍の「青き鼓動爆発」は、音楽や構成にも工夫がありフレッシュで光っていた。演出の冴えも良かった。演劇を好きな若者たちよ、社会人になっても母親になっても芝居を続けてほしい。芝居に年齢はない。若さでは知りえない芝居の醍醐味が待っているのだから。熟年中心の劇団ちゃんぽんは、人情時代劇で「母恋鴉」熱が入った芝居で、観客を泣かせていた。劇団きんしゃいの「おにぎり玉手箱」は笑いあり人情ありと、地元ファンに魅せる芝居だった。演劇祭は、劇団の縮小に伴い開催が危ぶまれる中、諫早市の元気のいい劇団が結果して今回の演劇祭を無事終了できた。最後に、実行委員長に感謝。



### 長崎に住み、蝶々夫人を演じて

長崎県オペラ協会 理事 松本 佳代子

去る10月25・26日、3000人あまりの聴衆が堪能した「ブッチーニ生誕150周年記念オペラ蝶々夫人」が盛大な拍手のうちに幕を閉じた。日本オペラ界第一人者である芸術監督・星出豊先生のご尽力により集められた国際的なレベルのスタッフ陣に支えられた舞台は、目を見張る素晴らしい美しさであった。18年ぶりの「蝶々夫人」本公演——この公演は、舞台上演じた歌い手・オーケストラ他、公演に携わった実にたくさんの市民の支えによって実現

今年1月の公募オーディションを経て、指揮者・演出家の妥協のない指導のもと、蝶々さん役に挑んだ私は、「15歳の初々しさ、18歳で自決する武士の娘の凛々しさ」を表現する難しさに悩んでいた時「それらしくではなく、あなたは楽譜を忠実にもつと読み込む事に専念しなさい。舞台・衣装・照明その他のスタッフがあなたを支えます。」と芸術監督におしえられた。楽譜をもつと読み込むことが蝶々さんに肉迫することで



長崎の宝物



あるというシンプルで重要なアプローチの方法をあらためて学んだ。コルベティトゥア(註)と共にイタリア語台本と音楽の両面から役づくりにはげんだ。世相を反映して、経済的に大変なような本格的オペラ公演は、当初考えられない事であった。しかし、今までの長崎県オペラ協会・長崎交響楽団の緒先輩方の築き上げた土台と、可能な限り県内各地に飛び込んでいてオペラの熱い想いを訴える機会の積み重ねが実を結んだことは、今後の活動に光を見出した思いである。世界中で音楽を学ぶ者にとって、オペラの舞台である長崎で蝶々さんを演じるといふ事は夢のまた夢である。私は主人の転勤で長崎在住となり、この地で教職に就き、この協会でオペラを学んだ。今回

のような経験ができた事への感謝は言葉では言い尽くせない。オペラの真の意味は「仕事」である。人々が協力して事を成す素晴らしさを、私はオペラから学んだ。この事を教育現場なりに、人生に活かすことで、感謝の気持ちを抱かしたい。昨日、私は聴衆のアンケートを見させて頂いた。「オペラ蝶々夫人は長崎の宝物ですね」という文字をたくさん目にした。この「宝物」、今回の公演に留まることなく、今後も生きたものとして発信できるように力を尽くしたい。

註 コルベティトゥア…オペラ公演のためにオーケストラをピアノで演奏しながら、歌い手の原語(今回はイタリア語)や音楽をコーチする人



これからの公演予定

### 佐世保市民管弦楽団第54回定期演奏会

2009年は、ドイツを代表する作曲家の一人、メンデルスゾーンの生誕200年にあたります。そこで、彼の代表作のひとつである、ヴァイオリン協奏曲ホ短調を演奏致します。ソリストには、ながさき音楽祭2008記念オーケストラでコンサートマスターを務められた、福岡教育大学准教授の原田大志氏をお迎えしますが、原田氏には同時に、指揮もしていただきます。オープニングに演奏するモーツァルトのハフナーセレナーデも、氏の弾き振りで贈りいたします。

メインプログラムであるベートーヴェンの交響曲第7番は、「のだめカンタービレ」という音楽漫画の影響で、ひところもはやされた作品ですが、クラシック音楽界ではずっと以前から親しまれ、愛されてきた名曲です。生命力に溢れた魅力的なこの交響曲はまた、難曲でもあるのですが、情熱を込めて精一杯演奏致します。皆様のご来場をお待ちしております。

- 日時 2009年1月24日(土) 18:30開演
- 会場 アルカス SASEBO 大ホール
- 料金 一般 1500円(当日1800円)  
小中高生 500円(当日700円)  
※未就学のお子様もご入場いただけますが、託児室(無料)もご用意しております。ご希望の方は、前日までに事務局にご連絡下さい。
- 問合せ先 佐世保市民管弦楽団事務局(蓮田)  
Tel.&Fax. 0956-28-4453



この春に、県指定無形民俗文化財「皿山人形浄瑠璃」の公演を開催いたします。

長崎県での人形浄瑠璃は、波佐見町と東彼杵町の2ヶ所だけ存在し、今もなお中学生や若者に受け継がれています。

今回は、波佐見町の皿山人形浄瑠璃保存会による、人形浄瑠璃が上演されます。また、人形の操作の解説や直接人形にふれることが出来るワークショップも予定しています。

人形浄瑠璃というと、難しいというイメージもありますが、子どもからお年寄りの方まで分かりやすく、また、楽しめる内容となっておりますので、是非、この機会に日本の伝統文化である「人形浄瑠璃」に触れてみませんか。

- 日時 2009年3月8日(日) 開演 13:00 (開場12:30)
- 会場 奈良尾 地域福祉センター「しおさい」
- 料金 高校生以上 500円 中学生以下無料
- 主催 新上五島町文化協会
- チケット取り扱い 新上五島町教育委員会生涯学習課/各生涯学習課分室
- 問合せ先 新上五島町文化協会事務局(新上五島町教育委員会生涯学習課内)  
電話0959(54)1984 FAX0959(54)2555



### 平成20年度 新上五島町皿山人形浄瑠璃公演

長崎ブリックホール開館10周年記念事業「ながさき市民文化のつどいー創る」 平成20年10月31日(土)～11月2日(日) 会場/長崎ブリックホール



展示・いけばな



舞台



開会式

## 長崎ブリックホール開館10周年記念事業 『ながさき市民文化のつどいー創る』を終えて

ながさき市民文化のつどい実行委員会 委員長 石橋 輝夫

今 回の「ながさき市民文化のつどいー創る」の開催にあたっては、

実行委員会を立ち上げ、各部門の委員の皆様のご協力で事業の推進を図り、去る10月31日～11月2日の3日間にわたり、ブリックホール全館で初日の開会式及びテープカットで幕を開けました。

本事業には、NPO法人長崎国際文化協会加盟の68団体、1173名が参加されましたが、舞台、展示、茶道部門に分かれ日頃の活動の成果を十分披露することができ、また、市民文化活動を広く発信できたのではないかと思います。

3日間にわたり、2階、3階の展示部門では、いけばな、美術作品、随筆、文芸作品が展示され、また、茶道部門では呈茶が行われました。

また、今回初めての企画として、長崎国際文化協会会員の皆様のご協力により、皆様が所蔵されている貴重な作品を展示した「国文協コレクション」を国際会議場で開催し、多くの市民の皆様にご来場いただき大変ご好評をいただきました。

大ホールでは11月1日、2日の昼、夜4公演が行われ、日舞、民謡、三曲、演劇、バレエ、吟剣詩舞など様々な演目が披露され、ジャンルの異なる団体とのコラボレーションも披露されました。

その他に、エントランスでは、いけばな及び胡弓体験教室、そして、子供たちによる日舞の披露や南画の実技披露が行われるなど盛りだくさんの催しが行われ、期間中延べ7075名の多くの皆様にご来場いただき、盛会のうちに無事終了することが出来ました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

様々なジャンルの団体が一堂に会して事業を開催するには、それぞれに条件が異なり難しい点も多くありますが、各団体が協力しながら事業を行うことで団体相互の連携、交流が一層深まったのではないのでしょうか。今後このような機会を創って、文化の発信に努めていかなければならないと改めて感じました。皆様どうもありがとうございました。



舞台 (いけばな・日舞・演劇コラボ)



茶道



国文協コレクション

# Youngamer Artist 若手アーティスト 派遣事業

平戸市文化協会主催

## 「第4回お月見コンサート」

平戸「庭を守る会」 副会長 大曲 裕子

平戸「庭を守る会」の秋のイベント、第4回お月見コンサートが10月14日に開催され今年も平戸市文化協会との共催で側面からの応援もいただき、若手アーティスト派遣



事業の助成を受け3名の演奏者を招くことが出来ました。個人の住居を利用したコンサートなので集客人数も限られていますし、採算の面からいつも頭を悩ませていましただけに、とても有難く感謝の想いでいっぱいです。

今、あちこちでコンサートが催され、平戸でも数ヶ所開催されています。

私達、庭を守る会では、独自の手作りコンサートをしたと、庭を「あかり」で演出し、幽玄の世界へ誘い、美しい「音楽」を響かせ、そこに集まれる皆様が日頃の生活から離れた心「癒し」喜んでいただける場を作りたいと念じながら、庭を守る会のメンバーで心を一つにし、保存活動の一環として、場作りに励んでまいりました。

ピアノ、ヴァイオリン、チェロの楽器を奏でる3人のアーティストのメロディーが静かな

## 「若手アーティスト派遣事業」とは

本県クラシック音楽家の新人登竜門である長崎県新人演奏会の優秀賞受賞者を文団協の登録アーティストとして、登録し演奏の機会を与えることで、その文化活動を促進し、併せて、本県クラシック音楽文化の向上を図る事業です。

県文団協の加盟団体、またはその加盟団体が構成員の一員である実行委員会等が対象となります。

長崎県新人演奏会の優秀賞受賞者(グループで出演の場合は、受賞者が最低1人含まれる)で概ね5年以内の受賞者を派遣します。そして、その派遣者の旅費と出演料を補助します。

空間に漂い、ライトアップされた木々や庭石と満月のお月様、そこにはまるで別世界が現れ、お客様も、出演者も、スタッフもそれぞれの心が一つに解け合い、暖かく、素晴らしい時と、場が生まれました。

帰途につかれるお客様から「素晴らしい」「次も楽しみにしています」「ありがとう」と言うことが飛びかき、皆様に大変喜んでいただくことが出来ましたことが、何よりも嬉しくとても大きな幸せを感じました。

14日の天気予報は前日まで曇りマークが消えなかったのに、まるで奇跡が起こったかのように、風もなく雲ひとつない夜空にぽつぽつとお月様が輝き、私達に微笑みかけてくださっているようでした。



## 大村市文化協会主催 「第20回 舞台芸術祭」

大村市文化協会 事務局 藤崎 和彦

多良山系から吹き降ろす風に、めつかりと秋の深まりを感じる11月16日の日曜日、大村市文化協会の一大行事である「第20回舞台芸術祭」が大村市民会館大ホールで盛大に開催されました。

市民文化祭の一環として始まった舞台芸術祭は大村市の文化振興に大きく寄与しています。

本年度は20周年記念として長崎県クラシック音楽家の新人登竜門である、新人演奏会で優秀受賞を修められた若手アーティストを招き、フルートの永留結花・ピアノの樋上裕子・ヴァイオリンの小林知弘の3氏の演奏の機会を得ました。芸術の秋を飾るにふさわしい素晴らしい演奏で、クラシック音楽の醍醐味を思う存分ご来場の皆様方に味わって頂いた。来場した方々は音楽の持つ感動や美しさを感じ取ったものと確信しています。



若手アーティストを派遣くださった県文団協の皆様に、感謝とお礼を申し上げます。

## 今後の開催予定

南島原市文化協会主催

### 「長崎県委嘱作家美術展移動展」

昨年の「県展移動展」に引き続き今年度は「委嘱展」を南島原市で開催いたします。日頃から美術鑑賞機会が少ない環境の中、本県在住の優れた委嘱作家による作品を間近に鑑賞することが出来ます。市民の皆様をはじめ多くの方々に必ずや深い感動を味わって戴けるものと確信しております。

また、オープニングセレモニーの中で若手アーティストによるミニコンサートを併せて開催いたします。優れた作品と音楽のコラボレーションをお楽しみ下さい。

- 日時：2009年1月28日(水)～2月1日(日)5日間
- 開館時間：10:00～17:00  
但し、1/28は9:30～オープニングセレモニーのため、10:30～17:00となります。
- 会場：原城文化センター(オープニングセレモニー)  
南有馬体育館(作品展示) ※入場無料
- 主催：南島原市文化協会
- 共催：深江町文化協会、布津町文化協会、有家町文化協会、西有家町文化協会、北有馬町文化協会、南有馬町文化協会、口之津町文化協会、加津佐町文化協会
- 問合せ先：南島原市文化協会 TEL050-3381-5082



ピアノ 宮本絵理子  
クラリネット 小田 智子  
ファゴット 池田 祐希



10/25(土) 第3回  
(五島市)

堂崎教会

世界遺産暫定リストに記載された「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」。その構成資産候補である堂崎教会。この教会は五島のキリスト教史を語る上で重要な教会であり、文化財としても貴重な教会でもあります(現在、県指定有形文化財)。

建物の規模的にはそう大きくはないものの、煉瓦造り、リヴ・ヴォルト天井と教会独特の荘厳な雰囲気の中で聞く音楽は、来場された方々を魅了し、素晴らしい一言に尽きました。

私自身、音楽のことはよくわかっておりませんが、西洋音楽の原点である教会音楽に少し触れたように思え、また、このような由緒ある教会堂でのコンサートが公演できたことは、担当者としても感慨深いことでありました。



公演当日は、午後7時開演という遅い時間、郊外という遠隔地でありながら、たくさんの方々に来場いただき感謝申し上げます。

また、会場設営等に協力いただいた信徒の皆様、運営に際しまして、ご支援を頂きました県文化振興課に心から敬意を表します。

最後に、若き演奏者たちに素晴らしいコンサートを聴かせていただいたことに心から感謝いたします。

五島市文化推進室 係長 松崎 義治

10/4(土) 第1回  
(平戸市)

山田教会



想像力をめいっぱい駆使して、準備をスタートするのはどのコンサートでも同じなのだが、宗教施設でのコンサートには独特の緊張がある。場所が決まった時点で企画のほとんどが決まると言っても過言ではない。

前日の「ほろ酔い」気分も覚めやらぬ私たちは、明治末期に完成した煉瓦造りの山田教会へと向かう。「ア・カペラ」はもともと教会音楽であり、旋律を持った祈りとして人々の心の深いところに語りかける。音楽家でありキリストの教えにも造詣深い松川先生による「ア・カペラアンサンブル」の会場リハーサルは入念を極め、この教会を大切に守ってきた信者のみなさんの気持ちに少しでも応えようとの思いがひしひしと伝わってきた。

開演時刻も近まり、用意された席が次々に埋まっていく。ほぼ満席となった頃、澄んだ歌声が教会堂に響く。最初の一曲が静かに終わったとき、お客さまの緊張もあつたようで、とまどい気味の拍手。しかしその後は演奏の合間の松川先生の説明や思い出話でなごやかにコンサートは進行。後半では合唱団メンバーが教会の壁に沿って配置され、暖かい響きがお客さまを包み込んだ。

翌日は小雨の日曜日。世界遺産への登録を静かに待っている宝亀教会は今年で献堂110周年。信徒のみなさんも企画スタートから心待ちにしてきたコンサートである。

コンサートの進行につれ、静かな山あいの中腹に建つ教会から聞こえてくる澄んだ歌声と拍手が次第に大きく感じられる。ときにお客さまも一緒に大合唱。たび重なるアンコールで堂内がひとつになって終演を迎えることができた。

この素晴らしい希有の機会に、私の無知から、信徒のみなさんによる合唱団の存在を活かせなかったことが、残念でならない。この歌声がいつまでも続きますように。

平戸文化協会 会長 町田 雅之

10/26(日) 第4回  
(五島市)

福江教会

福江カトリック教会は、信者様たちにとって日々の祈りの場です。その教会をお借りしてコンサートをさせていただきました。これは、いつもながら、他の会場よりも一段と身の引き締まる思いがいたしました。

今回は、ながさき音楽祭2008の最終日を五島の地でと、声楽(ソプラノ・フルート・クラリネット・ピアノ奏者の方々が来島され、そして地元混声合唱団「コーロフロイデ」が参加させていただきました。

当日は、信者様方の巡礼をはじめ各種行事が多く、素敵な演奏を聴かせていただくチャンスが無駄になるのではと心配もいたしましたが、雨模様にもかかわらず、多くの聴衆に恵まれ、ほっといたしました。そして何よりも「コーロフロイデ」一同は、唱歌メドレー「ふるさとの四季」を共演させていただき、合唱団だけでは創れない音楽にふれることができました。

また聴衆の皆様と一体となり故郷の大合唱ができましたことにも感謝し、このような機会を与えていただきました皆様にお礼申し上げます。

混声合唱団「コーロフロイデ」  
代表 郡家智恵子



10/5(日) 第2回  
(平戸市)

宝亀教会



10/24(金) 第3夜 山崎本店酒造場(島原市) ~出会いに乾杯、思い出に乾杯~



当日は、お昼の部と夜の部の2回公演で、クラシックからポピュラー、歌謡曲、また、島原の子守歌まで幅広いジャンルの演奏がされました。会場が店舗や昔ながらの帳場と座敷などを利用した会場でしたので少し手狭でしたが、70名の2回ほぼ140名の大場番で超満員でした。演奏の前には、蔵元自慢の大吟醸酒、純米大吟醸酒と地元のおいしい肴が用意されており、酒と肴の食の文化を楽しんでいただき演奏の間には、蔵見学や、お買い物をしていただきました。お酒も文化であり、音楽と同じように人々を楽しませ、酔わせるものですが、今日は、2つの文化にも酔いしれていただきました。

いっちゃんご市原隆靖さんのユーモラスで楽しいトークと素敵なオーボエ、すばらしい歌声のソプラノ歌手の西岡聖子さん、美しい音色のフルートを演奏していただいた濱砂由美子さん、美しい旋律を軽快なタッチで演奏していただいた樋口梨絵さんのすばらしい演奏で観客の皆さん全員魅了されました。

酒蔵コンサートのためほろ酔いではあったのですが、観客のマナーもよく、観客と演奏者が一体となつてすばらしい演奏会になっていました。会場の雰囲気も最高の盛り上がりを見せ、演奏終了後もアンコールが何度も合奏されてしまいました。来場されたお客さまからは、大満足のお声とともに、来年もまた開催してほしいとの声があがっております。

最後になりましたが、長崎県文化振興課の皆様、出演者、スタッフの方を始め多くの関係団体の方々にご協力をいただき、酒蔵コンサートが開催できたことを深く感謝申し上げます。

合資会社山崎本店酒造場 山崎 倫弘



10/3(金) 第1夜 福田酒造(平戸市) ~歌と楽器が奏でる、港町ブルース~

日本最西端の酒蔵ということもあり、長崎市から一番離れた開催場所ということですが、どのくらいの人にご入場いただけるか心配でしたが、当日は1200人を超えるお客様にご来場いただきました。大盛況で酒蔵コンサートを終えることができました。

また、酒蔵コンサートでは食のワークショップも同時開催され、志々伎漁港で水揚げされたばかりの新鮮な魚介類を中心とした地元料理と醸造した新鮮な清酒との組み合わせを楽しんでいただきました。

コンサートは、「音香成蔵」を会場に、港町ブルースをテーマとしたクラシック音楽や美空ひばり、サザンオールスターズなど様々なジャンルの音楽を演奏していただき、肩ひじ張らず音楽の楽しさを伝える演出も素晴らしい。ご来場の皆様も満足そうな表情でした。

最後になりましたが、酒蔵コンサート「ほろ酔い気分で蔵シツク」を開催するにあたりましてご協力いただきました関係者の皆様方、ご来場の皆様方、誠にありがとうございました。また、これから地域に根ざした酒造りをモットーに地域の文化の振興にも努めてまいります。

福田酒造株式会社 福田 竜也



10/25(土) 第4夜 浦川酒造(南島原市) ~音楽に抱かれて、大人の恋が始まる~



あわただしい準備も一段落、夕刻開演予定よりも以前に次々とお客様が来て下さいました。お酒を飲みながらの音楽会、私共も初めてのことで、手さぐり状態でしたが、昨年行なわれた吉田屋さんのご意見を参考に準備を進めることが出来ました。

ボエの方々の演奏「目」というべきかもしれませんが、後日、楽しんでお客様も大満足の御様子で、後日、楽しかったとお声もいただきました。反省点としては私共の蔵の「蔵」が良くわからず、参加を見送る方もおられるとのこと、マップをもう少し見やすく、案内方が良かったと思っております。何度もお電話等で打ち合わせをして下さったスタッフの方々に御礼申し上げます。

浦川酒造合資会社 長池 久美



10/11(土) 第2夜 杵の川酒造(諫早市) ~グラス片手に夕暮れオペラ~

およそ240名のお客様にご来場いただき、開演前に用意していた樽酒を始めとした弊社自慢の日本酒と、五島うどん、おでん等の料理をまず味わっていただきました。また会場には、暖をとるための篝火や竹とっぽでの口ウソクの照明が彩りを添えました。そして日も暮れて、お客様もほろ酔い気分になったところで、ソプラノの尾崎裕子さん、合唱団「翔」の皆さんといったオペラ協会の皆さんを中心に演奏がスタートしました。あつという間に酒蔵倉庫は、にぎやかで楽しく、ダイナミックなオペラの舞台に変わりました。オペラ「椿姫」からは「乾杯の歌」、ミュージカルで有名なオズの魔法使いからは「虹の彼方に」が演奏され、お客様は熱狂の渦に巻き込まれました。

今回始めて「ほろ酔い気分で蔵シツク」の会場に選んでいただきましたが、お客様が大満足の演奏に笑顔で帰途に着かれた姿を見ることが出来、社員一同とても心の充実したイベントとなりました。

杵の川酒造株式会社 瀬頭 信介



# 月明かりお寺コンサート

9/16(火) 圓成寺(松浦市) ~本堂で 耳をすませてアンサンブル さわると秋が さびしがる~



素敵なタイトルのとおり、十七夜の月が明るく境内を照らしていましたが、お堂内に早くから集まっていた大勢のお客様方の期待と熱気で、美しい月明かりも霞んでしまうほどでした。  
お寺の中にある保育所の子供さん達の可愛らしい合唱が始まって、いよいよお待ちかねの演奏です。お寺の堂内に響きわたるピアノの音に魅了され、クラシックから演歌までバイオリンやクラリネット等の素晴らしい演奏、美しいソプラノ等々、音楽を堪能させていただくことができました。お客様の中には

「来年もぜひお願いします」とのメッセージを残して帰った方もありました。

思えば2月〜3月にかけて「地域の文化リーダー養成講座」が開講されたおりに、心をゆさぶられるような演奏に出会い、ぜひ松浦市でも市民の皆様に参加させてあげたいと思ったのが、このたびのきっかけでした。

この講座で、音楽会を開くということについて実にさまざまなお話を学ばせていただきましたが、たとえばコンサートのタイトルひとつにしても「は」とするほど詩的で一目で興味をひくような言葉を考えるなど、どれだけ刺激を受けたことでしょうか。

実現に至るまでのさまざまなお話、な紆余曲折はありましたが、会員一同、こころをあわせて一つの事業の実現に当たるといって、貴重な経験もし、特に裏方の仕事や、チケットの販売等「地域の文化リーダー養成講座」において受講した内容の即実行という形で大変有意義であったと思います。

当日の昼間は、同じく松浦市の田代小学校で「やまびこコンサート」それについて夜のコンサートですから、演奏者の皆様方もずいぶんお疲れになられたことと思いますが、ほんとうに手が触れるほど身近な場所で、すばらしい音楽を楽しませていただけたことに心より感謝いたしております。

松浦市文化協会 会長 永益 幹子



## しまの芸術祭



### あづち 的山大島に OMURA室内合奏団が やってきた

平戸市教育委員会 文化遺産課 班長 加藤 有重

11月21日、OMURA室内合奏団アンサンブルの公演が、平戸市立大島中学校(37名)で行われました。  
大島中学校が所在する的山大島は、平戸の北方に浮かぶ面積15.5km<sup>2</sup>の小さな島で、人口約1,500人、平成17年10月1日の市町村合併により平戸市になっています。南東部に位置する神浦地区には、江戸時代から残る港の町並みが残されており、今年6月に83番目の国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

会場には大島小学校(66名)、猶興館高校大島分校(35名)の児童生徒も集まりました。「崖の上のポニョ」など6曲を鑑賞し、OMURA室内合奏団アンサンブルの演奏をバックに合唱を行い、楽しいひと時を過ごしました。

また、前日には大島小学校の音楽室で弦楽器に触れる体験交流会も行われ、初めて弾いたバイオリンやチェロの音色に一喜一憂し、音楽への興味と関心を深める貴重な体験をさせることができました。また、前日には大島小学校の音楽室で弦楽器に触れる体験交流会も行われ、初めて弾いたバイオリンやチェロの音色に一喜一憂し、音楽への興味と関心を深める貴重な体験をさせることができました。

演奏後に子どもたちに聞いてみると「楽しかった」「面白かった」「プロの演奏はすごい」「また来て欲しい」など、目を輝かせて話してくれました。

芸術や文化に触れる機会の少ない島の子どもたちに、音楽を通じて喜びと感動を与えることができました。長崎県、OMURA室内合奏団のご協力に感謝するとともに、今後もこのようなアウトリーチコンサートを提供していただきますようお願いいたします。



若手指揮者の中で三指に入るヨーロッパのカリスマと、数々の国際コンクールを制した噂の逸材チェリスト 石坂 団十郎。3年ぶりに「NHK交響楽団」がアルカスSASEBOに登場です!

NHK交響楽団

# ハイドン没後200年 メモリアルコンサート

2009.3/10

会場 アルカスSASEBO大ホール

開場 18:30 開演 19:00

全席指定 SS席8,000円 S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円

(各席学生半額・当日500円増し・消費税込み)

PCコード 307-025 Lコード 87217 チケット好評発売中

主催:アルカスSASEBO 共催:NHK長崎放送局

【プログラム】  
ハイドン:チェロ協奏曲 第2番  
マーラー:交響曲 第1番「巨人」

指揮:ヤープ・ヴァン・スヴェーデン



管弦楽: NHK交響楽団



チェロ: 石坂 団十郎

古典派を代表するオーストリアの作曲家ヨゼフ・ハイドン

アルカスSASEBOでは、「NHK交響楽団」ハイドン没後200年メモリアルコンサート」を、3月10日(火)にアルカスSASEBO大ホールで開催いたします。今回のプログラムでは、ハイドンの傑作とされ名曲である3大チェロ協奏曲の1つ「チェロ協奏曲 第2番」を、最難関の国際コンクールで優勝を重ねた逸材 石坂 団十郎の演奏でお楽しみいただきます。そして、オーケストラの醍醐味を、100名以上の大編成によるNHK交響楽団の演奏で、マーラーの「巨人」をお楽しみいただきます。

ヨロップで演奏家としての地歩を固めています。04年N響公演で日本デビュー。国内各オーケストラとも共演し絶賛されます。06年N響定期、NHK音楽祭に出演し大成功を収めました。演奏チェロは、クロンベルクアカデミー貸与のW・シュナーベル1997年作と、日本音楽財団貸与のストラディヴァリウス1696年作「ロード・アイレスフォード」。

指揮は、若手指揮者の中で三指に入る逸材と言われる、ヨーロッパのカリスマ ヤープ・ヴァン・スヴェーデン。1960年、阿姆斯特ダムで生まれ、阿姆斯特ダム音楽院でヴァイオリンを学び、19歳の時、ロイヤル・コンセルトヘボウの史上最年少のコンサートマスターとなります。パースタインなど一流指揮者のもとでソリストとして活躍、95年より指揮活動を開始。96年から2000年には、オランダ交響楽団の首席指揮者を務め、アメリカの大規模なツアーを行い、カーネギーホールでデビューを果たします。その後、ハーグ・レジデンティ管弦楽団の首席指揮者として日本、南米、ヨーロッパツアーを行いました。今後、香港フィルハーモニー管弦楽団、ダラス交響楽団、オランダ放送フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管

\*「NHK交響楽団」公演は、長崎県教職員互助組合「芸術鑑賞・スポーツ観戦補助事業・芸術鑑賞等元気回復事業補助」に指定されています。アルカスSASEBOの窓口でご購入の際は、「芸術鑑賞等元気回復事業補助請求書」をご提出ください。



2008年8月上演



## 天正遣欧使節ミュージカル “光る海”再演に向けて

昨年、大村市の市制65周年「天正夢まつり」に合わせて上演した「天正遣欧使節ミュージカル「光る海」」をシーハット市民ミュージカルの定番にしようと、脚色家菊池准先生による本の直しと新たなメンバーも加えてキャストینگの一新も図って、来年3月の本番に向け9月から稽古が始まっています。11月現在、1幕の本が上がり、荒立ちもつて劇団の稽古も毎週火曜と木曜の2回と頑張っています。2幕も11月下旬には上がるはず。前作では、1幕が少年時代の4少年役と2幕が青年時代の4青年役と合わせて8人の4少年がほぼ半分ずつ演じるという作品でした。しかも4少年は全員女の子が演じ、4青年も1人は女性が演じました。こういう舞台で表現することに男性はとて遠慮深いため、圧倒的に女性参加者が多いゆえの苦肉のキャストイングでした。ところが、今回は4青年を全員男性で演じることができました。まさに奇跡!8年かけて重ねてきた市民ミュージカルの取り組みが実を結んだ賜物なのです。やはり、男性は男性が演じないと真実味がうすれるような、もうひとつキレが悪いというか。(女性団員の皆様ごめんなさい!本当は、女性のおかげで市民ミュージカルは続いているようなものです。)宝塚版の4少年というのはちよつと寂しい。そういう訳で今度の再演は期待できます。地元演出家の川尻米店店主も4青年だけの特別稽古を毎週火曜日にみっちりやっつて、とても満足されているように見えます。因みにキャストを紹介しますと、千々石ミゲル役の砺山大輝(17歳)、中

○上演日:2009年3月1日(日)  
①14時~②18時~  
・さくらホール  
全席自由  
前売:大人2,000円・小中高  
校生1,000円・親子券  
2,500円  
お問合せは、シーハットおおむら事業部、藤崎までTEL0957-20-7207へお気軽に。

浦ジュリアン役の松下卓也(19歳)、原マルチノ役の岡村梢平(17歳)、伊東マンショ役の早田樹(23歳)の4人です。実は8月に東京から振付の大原晶子先生と音楽の上田亨先生を呼んで夏休み集中稽古をおこなったのですが、ふと見ると劇団員の年齢構成が随分大人っぽく変わっているのに気づきました。つい最近までは子供さんの構成が高く見えていたのですが、よく考えてみると子供の成長は早いんですね、特に小5、6年あたりから身長はほとんど伸びて、成人女性の背丈をあっという間に抜いてしまつて身長だけみるとまさに大人の劇団みたいに見えるのでした。これも劇団として足掛3年続いているからなのです。そういう訳で劇団としてスキルアップを続けてきたミュージカル劇団夢核の演じます天正遣欧使節ミュージカル「光る海」再演をぜひご覧いただきたいと思えます。また、天正遣欧使節を一人でも多くの市民に理解していただくとうと30分のダイジェスト版も制作して、10月のコミセンまつりでお披露目しました。県内の4少年ゆかりの町でもぜひ上演されませんか。

シーハットおおむら事業部長 藤崎 澄雄

## 企画展 『世界大風呂敷展 布で包むものと心』



【ペルー 毛織 紋織 包み布】  
20世紀 国立民族学博物館蔵

【アフガニスタン 木綿 刺繍 包み布】  
20世紀 宮井(株)蔵



【韓国 絹 パッチワーク ボジャギ】  
20世紀 宮井(株)蔵

近年、繰り返し使えるというエコロジ-的な点や多機能性(それに伴う包まれたかたちの美しさ)により見直されつつある風呂敷。日本と世界各地に伝えられる包む文化を紹介します。また美し

いテキスタイルが知られるヨーガン・レールによる新しい風呂敷の提案も行います。様々な包み方や風呂敷制作のワークショップなど楽しくするための企画画も開催します。

- 会 期：2009年1月27日(火)～2009年3月22日(日)
- 開館時間：10:00～20:00(入場は閉館の30分前まで)
- 休 館 日：2月9日(月)、23日(月)、3月9日(月)
- 会 場：長崎県美術館 企画展示室
- 料 金：一般900円(800円)、大学生・70歳以上600円(500円)、高校生400円(300円)中学生以下無料  
※カッコ内は、前売および20名以上の団体料金
- 主 催：長崎県美術館、KTN テレビ長崎、国立民族学博物館、財団法人 千里文化財団
- 問合せ先：長崎県美術館 095-833-2110

夜の割引鑑賞券  
500円  
期間中17:00以降の当日券を購入される方に限り、展覧会を500円で鑑賞いただけます。

### Exhibition

#### 長崎の美術 4 生誕150年記念

## さかき てい とく 彭城貞徳展

- 会 期：12月18日(木)～  
2009年3月8日(日)
- 観覧料：一般400円、  
大学生・70歳以上300円、  
小中高生200円、  
県内在住の小中学生無料

「長崎の美術」シリーズの第4弾として、長崎出身の画家・彭城貞徳(1858-1939)を紹介します。彭城は、明治初期に日本初の油彩画家といわれる高橋由一に油絵を学び、日本近代洋画の黎明期を支えました。本展は、館蔵品だけでなく、全国から集めた作品を合わせて展示し、彭城の芸術を多角的に検証する回顧展です。



《和洋合奏之図》1903年頃 長崎県美術館蔵

### 美術館で楽しく学ぼう!

長崎県美術館では、この他にも学べるプログラムが充実しています。

#### 〈スクールプログラム〉

鑑賞プログラムでは、スタッフが分かりやすく作品や鑑賞のポイントを解説します。表現プログラムでは、版画(シルクスクリン)や絵の具づくりなど様々な制作を行います。

#### 〈アートクラブ〉

子ども・親子・おとなの選べるコースが魅力的。毎回展覧会をヒントにした活動の中で、みなさんも作家になりきって表現しましょう。



#### 〈みんなのアトリエ〉

大学生と一緒に企画するアイデア満載の楽しいワークショップです。子どもから大人まで気軽に参加できます。

〈お問い合わせ〉長崎県美術館  
〒850-0862 長崎市出島町2-1  
TEL.095-833-2110  
http://www.nagasaki-museum.jp



### 遠隔授業



#### 美術館活用術! リアルタイムで美術館を堪能

長崎県美術館では、県内のより多くの子どもたちに美術鑑賞の機会を持ってもらおうと「遠隔授業」を実施しています。これは、遠隔地にある学校を対象に美術館と学校を双方向の映像装置で結び、対話型の授業を行うというものです。簡単に言うと、大きなテレビ電話を使って美術館の作品を見る、といったところでしょうか。作品の迫力や質感が映像で伝わり、感想や質問などその場でやり取りができます。

開館初年度より、三カ年毎に対象校を公募し、これまでに県立鹿町工業高

校で8回、県立奈留高校・五島市立奈留中学校で1回実施しました。生徒たちや担当の先生方の評判も良く、「美術館に行っている感じだった」「美術に触れるいい機会になった」といった声が多く聞かれました。特に離島の多い長崎県では、美術館を訪れる機会の少ない子どもたちにとって、いながらにして美術を堪能できることは、貴重な体験になると信じています。今回は、2009年2月12日、再び県立奈留高校・五島市立奈留中学校で実施する予定です。

### 授業



遠隔授業とは、博物館と地理的に離れた地域の学校を対象にテレビ会議システムで結び、リアルタイムでお互いの映像を見ながら授業を行う新しい授業形態のことです。開館以降、県立壱岐高校を対象にこれまで5回実施し、今回は3月を予定しています。また昨年7月には初めて小学校を対象に壱岐市立盈科小学校とも授業を行いました。「鎖国とオランダ貿易」「江戸時代の長崎の町」などをテーマに、博物館で展示されている「南蛮人來朝之図」や「寛文長崎図屏風」「唐人屋敷

の模型」などを提示しながら、研究員が資料や関連するテーマについて解説し、学校側では先生方に会場での指導を依頼しています。先生方と研究員が授業を進めることで、対象である児童や生徒の学習内容に合わせた授業を展開できます。デジタル機器を媒介とする形態のため、本物の資料を見て得られる感動にどこまで近づけられるかなど課題は多いですが、歴史学習に対する興味・関心を高める機会になれるよう努力していきたいと思っています。

### 特別展示



〔年中行事絵巻〕 川原慶賀筆  
(長崎歴史文化博物館蔵)

## 「雛まつり」

- 会 期：2月28日(土)～3月16日(月)
- 常設展示室：長崎奉行所ゾーン 書院
- 観覧料：常設展観覧料

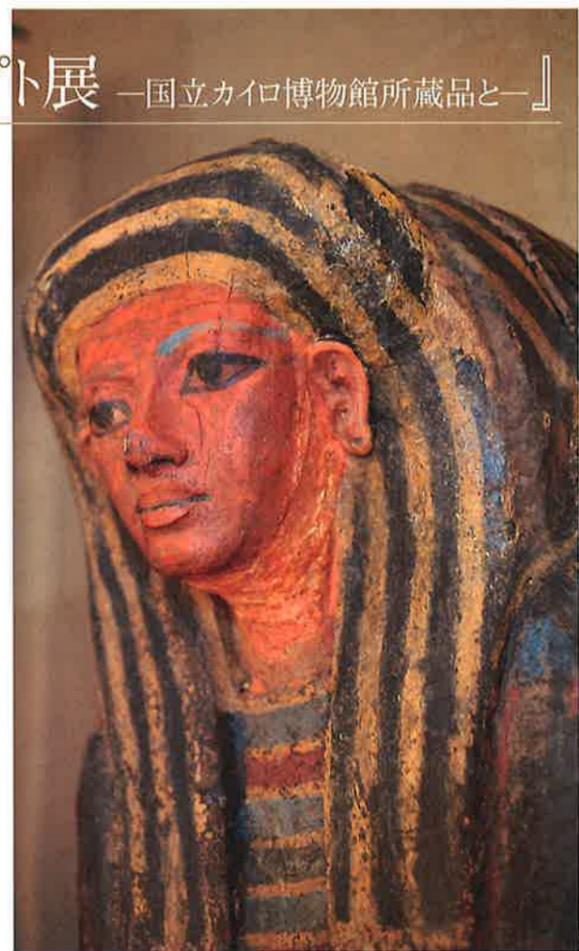
〈お問い合わせ〉長崎歴史文化博物館  
長崎市立山1-1-1 TEL.095-818-8366  
http://www.nrmhc.jp



## 企画展 『吉村作治の新発見! エジプト展』 — 国立カイロ博物館所蔵品と —

吉村先生率いるエジプト調査隊により2005年1月に発見された、3800年前の未盗掘ミイラ、青いミイラマスク「セヌウ」が日本中で話題を呼んでいた2007年1月、ダハシュール北遺跡から「吉村作治調査隊が新たな未盗掘ミイラを発見!」というニュースが世界を駆け巡りました。エジプト考古学史上でも過去に例がないといわれる夫婦ミイラの発掘。その後も未盗掘木棺、黒い人型棺などが次々に発見され、さらに同年10月には、新たな親子ミイラの新発見という驚くべき快挙が成し遂げられました。そして今回、発見されたばかりの3500年前～4000年前の未盗掘木棺、「チャイの人型棺」「セベクハトとセネイトエスの箱型棺」が日本で世界初公開されます。本展では、これらの木棺と、「埋葬に関わる神々の像」、「ミイラ製作」「副葬品と死者供養」の遺物など、エジプトの国立カイロ博物館所蔵の至宝70点を加え、「古代エジプトのミイラと死生観」をテーマに展覧します。

- 会 期：2009年2月7日(土)～4月5日(日)
- 会期中休館日：2月17日(火)、3月17日(火)
- 会 場：長崎歴史文化博物館 3階企画展示室
- 開館時間：08:30～19:00(最終入館18:30)
- 料 金：大人1,200円(1,000円) 高校生1,000円(800円)  
小中学生500円(400円)  
※( )内は前売り及び15名以上の団体割引料金
- 主 催：NBC 長崎放送 長崎歴史文化博物館
- 企画制作：RKB 毎日放送
- 企画協力：アケト
- 監 修：吉村作治



親子ミイラの木棺(チャイの人型棺)2007年10月22日発見

■長崎県文化基金は…

- 本県の芸術文化の振興と普及を図るために昭和51年に長崎県が創設し、運用しています。
- 県、市町、企業のほか、文化団体や個人の寄附により、その金額は5億円を超えています。
- 基金の利子は長崎県文化団体協議会を通じて、各種文化団体の事業に活用されています。

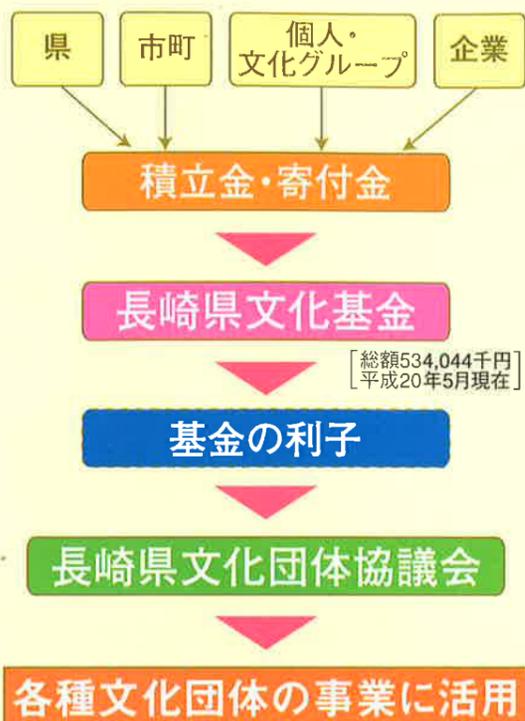
■県文化基金への寄附は税制上の優遇措置があります

- 個人の場合  
国税については寄附された金額、又は所得金額の40%のいずれか少ない金額より5千円を差し引いた額が所得控除の対象となります。県・市町民税については控除はありません。
- 法人の場合  
国・県・市町民税については寄附された金額の全額が損金算入されます。

お申し込み・お問い合わせ先

長崎県文化・スポーツ振興部  
文化振興課  
〒850-8570 長崎市江戸町2番13号  
TEL 095(895)2762  
FAX 095(829)2336

長崎県文化基金のしくみ



文化基金へご協力下さい

第53回長崎県美術展覧会公募展

第53回長崎県美術展覧会(県展)公募展は、9月13日から10月26日まで、長崎・佐世保・諫早において本展が順次開催され、11月には、対馬市(厳原会場と峰会場)及び江迎町において移動展が開催されました。

今年は、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザインの7部門に1,791点の出品があり、西望平和賞に平山清美氏(工芸)、洋画で40歳未満の入賞者中、新人の育成・奨励等を目的とした野口彌太郎賞に高校3年生の福永遼氏が選ばれた。

また、長崎会場で実施したワークショップ(7部門に小・中学生105名参加)、オークション(本県在住の作家64名が提供)に多くの県民が参加して楽しんだ。

西望平和賞



◎部門 工芸 ◎題名 砂・模様 ◎氏名 平山 清美 ※工芸部門の県知事賞

野口彌太郎賞



◎部門 洋画 ◎題名 Vivid, Rabbit, World ◎氏名 福永 遼

県知事賞受賞者

- 日本画 倉橋 郁子
- 洋画 山崎 雅子
- 彫刻 松永 英世
- 工芸 平山 清美
- 書 齊藤 康子
- 写真 上村 貞光
- デザイン 木場 麻衣子

移動展 各会場とも約103点の展示 ◎ワークショップ後の作品も展示

対馬市厳原会場

11月6日(木)～9日(日)の4日間、対馬市交流センターで開催。ワークショップは、仁位孝雄氏他の指導で、小学生23名が写真をパソコンに取り込み、対馬市国際交流員の成修眞氏の協力で韓国語の入った年賀状を作った。



対馬市峰会場

11月13日(木)～16日(日)の4日間、対馬市峰地区公民館で開催。ワークショップは、11月12日(水)並川一巳氏の指導で、小・中学生22名が油絵に挑戦した。

江迎町会場

11月21日(金)～24日(月)の4日間、インフィニタス江迎町文化会館で開催。ワークショップは、平野光榮氏、濱井隆氏の指導で、小学生22名が油絵に挑戦した。

長崎県文化団体協議会とは?

「長崎県内における芸術文化団体相互の連絡協調を図り、文化活動を促進して県民文化の向上を期する」ことを目的に昭和38年発足。現在98団体が加盟しています。会長は金子原二郎長崎県知事。

編集後記

Editor's Postscript

○同じような毎日でも同じ時間が流れることは決してない。例年開かれる文化祭や発表大会などの文化活動も同じであり、また、回を重ねる毎により充実した内容の濃い催しを生み出しているに違いない。しかし、不況という逆光が暗い陰を作っている。ここで出会った文化人達よ、自前のスポットライトで陰を消し観客を魅了してほしい。そして、一度灯された明かりは消えぬように後世へ受け継いでほしいと願う。(柏)

○今年、文団協が県から受託して行った「ながさき音楽祭2008」は、約2ヶ月間で延べ1,800人余の出演者(約95%が長崎県ゆかりの人)、1万人を超す観客で盛況でした。文団協は、音楽のみならず、様々な芸術文化の振興を図るため、各文化団体の事業推進に支援しています。出来るだけ新しい企画を考えて下さい。長崎県の文化向上のために一緒にがんばりましょう。(宏)

72 文協 BUNKYO

Cultural Information of Nagasaki

第72号(2009)平成21年 1月発行

発行/長崎県文化団体協議会  
住所/〒850-8570 長崎市江戸町2番13号  
長崎県文化・スポーツ振興部 文化振興課内  
TEL/(095)822-6049  
FAX/(095)829-2336  
編集/長崎県文化団体協議会事務局  
印刷/株式会社 昭和堂

